

住宅火災を未然に防ぐ

防火の心得



3月1日から7日まで春季火災予防運動を実施します。
この時季、空気が乾燥し、火災が発生しやすくなっています。次のことに注意してください。

其の壱

家のまわりに燃えやすいものを置かない。

- ◇ 家の周囲には、燃えやすいものを置かないようにしてください。
- ◇ 車やバイクのポティーカバーは燃えにくい素材のものを使用し、空き家や物置は施錠してください。
- ◇ 地域ぐるみで放火対策に取り組み、放火されない環境づくりに努めてください。

其の貳

たばこの始末は確実にする！

- ◇ 吸い殻は確実に消し、灰皿の吸い殻は、こまめに捨ててください。
- ◇ ペットボトルなどの代用灰皿は、絶対に使用しないでください。

其の参

天ぷらを揚げるときは、その場を離れない。

- ◇ 油を使った料理は、出火危険が高いです。調理中にコンロを離れるときは、必ず火を消してください。
- ◇ コンロの油汚れはこまめに掃除するとともに、タオルなど燃えやすいものを近くに置かないでください。

其の肆

子どもには、マッチやライターで遊ばせない。

- ◇ マッチ・ライターを子どもの手の届く場所に置かないでください。
- ◇ 日頃から子どもに火の怖さを教えてください。

其の五

電気器具は、正しく使い、タコ足配線はしない。

- ◇ タコ足配線はしないでください。
- ◇ 被覆が劣化したコードは使用せず、コードの上に物を置かないでください。
- ◇ コンセントの埃はこまめに掃除するとともに、電気製品は適正に使用してください。

其の六

暖房器具には、燃えやすいものを近づけない。

- ◇ 暖房器具は出火危険が高いため、近くに燃えやすいものを置かないようにしてください。
- ◇ 着衣や寝具等に着火し、死傷する場合がありますので、気をつけてください。
- ◇ 就寝前や外出前は、必ず電源スイッチを切り、使用しないときはコンセントを抜くようにしてください。

其の七

石油ストーブの給油は、火を消してから行う。

- ◇ 石油ストーブに給油するときは、必ず火を消してから行ってください。
- ◇ 灯油のカートリッジタンクのふたは、確実に閉まっているか必ず確認してください。
- ◇ 石油ストーブに給油するときは、給油前に必ず灯油であることを確認してください。

其の八

住宅用火災警報器を設置し、定期的に点検する。

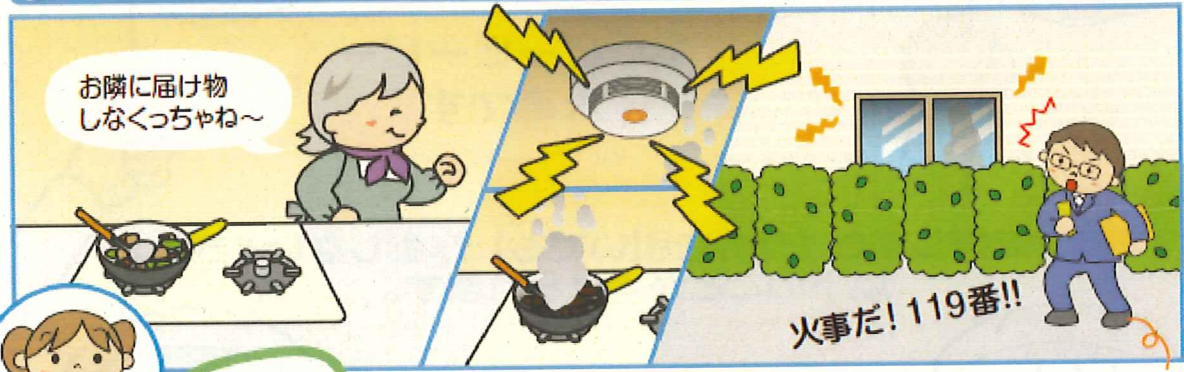
- ◇ 住宅用火災警報器の設置は、義務となっています。まだ設置していない方は、早く設置してください。
- ◇ 既に設置されている方は、点検スイッチ等进行操作し、定期的に作動を確認してください。

住宅用火災警報器を設置してください

亀岡消防署は、住宅用火災警報器の設置率 100 パーセントを目指して、ご家庭や地域ぐるみでの設置促進に努めています。
大切なご家族やご自身の命を守るため、早期に住宅用火災警報器を設置しましょう。

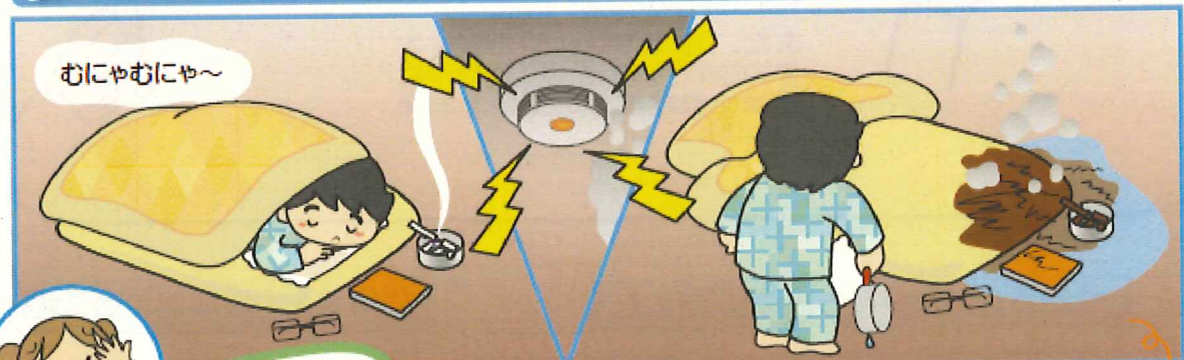
助かった事例はたくさん

事例1 コンロを消し忘れて外出してしまい…



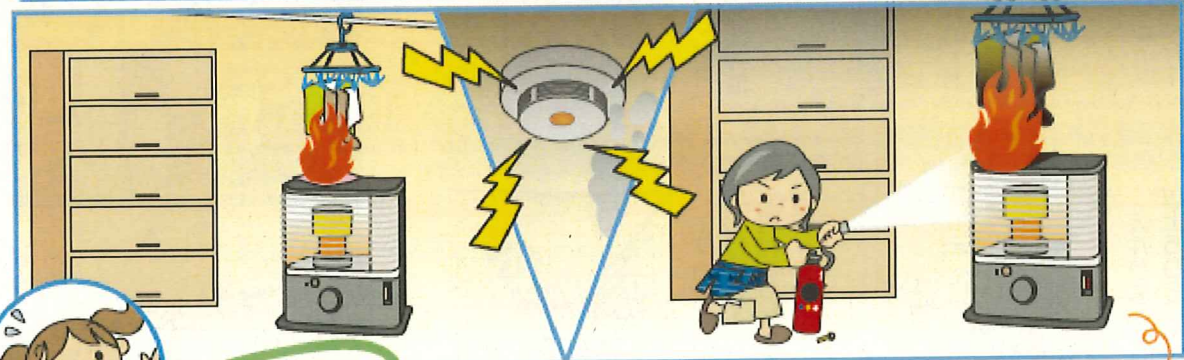
台所に付けていた住宅用火災警報器が鳴り、家の近くを通りかかった人が気づき大事に至らなかった事例です。

事例2 眠る前にタバコを吸ってしまい…



住宅用火災警報器が鳴って目が覚め、煙が出ていた布団に水をかけて消したため大事に至らなかった事例です。

事例3 ストープの上で洗濯物を乾かしていたら…



住宅用火災警報器が鳴って家人が気づき、消火器により消したため大事に至らなかった事例です。

住宅用火災警報器の維持・管理も大切です

作動確認のしかた

正常なら以下のように鳴ります。



ピーピーピー
火事です



ピーピーピー
火事です

ボタンを押しても（ひもを引いても）作動しないときは、以下のことが考えられます。



- ▶ 電池は、きちんとセットされているかご確認ください。
- ▶ それでも鳴らない場合は、「電池切れ」か「機器本体の故障」ですので、取扱説明書をご覧ください。

また、「電池切れ」や「機器本体の故障」の場合は、速やかに電池や機器本体の交換をお願いします。



住宅用火災警報器の設置位置は？

住宅用火災警報器の設置場所は？

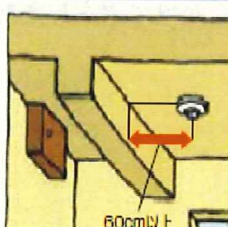
天井の場合

壁から60cm以上離れた位置（天井取付タイプ）



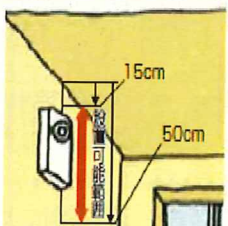
梁などがある場合

梁から60cm以上離れた位置（天井取付タイプ）



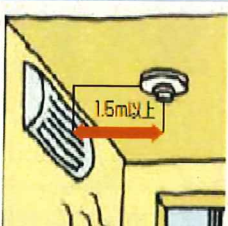
壁の場合

天井から15cm以上50cm以内離れた位置（壁掛けタイプ）



エアコンなどの吹き出し口がある場合

エアコン等の吹き出し口から1.5m以上離れた位置（天井取付タイプ）



問い合わせ先
 亀岡消防署 予防課予防係
 TEL0771 - 22 - 9583

露店等で火気器具を使用する際は、

消火器の準備と消防署への届出が必要です！

■ 消火器の準備について

多数の者が集合する催しで対象火気器具等（注）を使用する場合には、屋内外を問わず、**消火器の設置が必要です。**

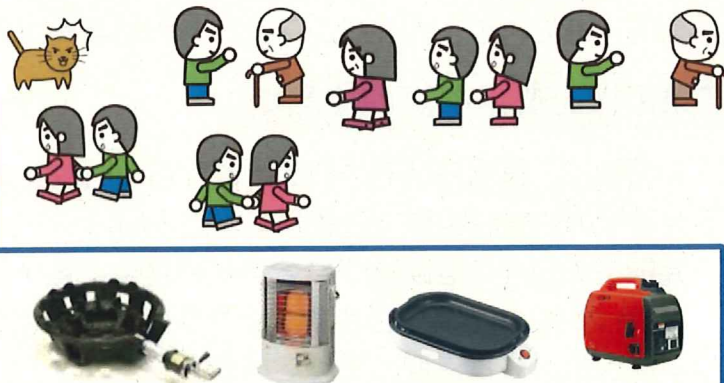
- ① 使用する対象火気器具等に適した消火器を準備してください。
ABC粉末消火器は、普通火災、油火災、電気火災の全てに適応していますので、このタイプの消火器の準備を推奨します。
- ② 消火器は、原則として、対象火気器具等ごとに1本以上を準備してください。ただし、消火器の使用に支障がなく、初期消火を有効に行うことができる場合は、複数の対象火気器具等に対して、1本の消火器を兼用することができます。
- ③ 設置場所は、対象火気器具等を使用する店舗内等、使用に際して支障がない場所とし、対象火気器具等から消火器までの歩行距離は20m以内としてください。



(注) 対象火気器具等とは？

対象火気器具等とは、火を使用する器具又はその使用に際し、火災の発生のおそれのある器具のことです。

(例) ガスグリル、コンロ、フライヤー、電熱器、炭火焼き鳥器、石油ストーブ、電気ストーブ、携帯発電機等



■ 露店等の開設届出について

多数の者が集合する催しで対象火気器具等を使用する露店等を開設する場合は、5日前までに開設する場所を管轄する消防署への届出が必要です。



届出書の様式は、京都中部広域消防組合のホームページからダウンロードできます。

露店を開設する場合は、**火気や危険物**について、正しい取扱いを心掛け、**安全確認**を徹底してください。

屋外でLPボンベを使用する際の注意点

- **ガス器具、容器の設置**
 - ガス器具や容器のそばに燃えやすい物を置かないでください。
 - 容器は直射日光を避け、通風や換気のよい場所に設置してください。
 - 容器は平らな場所に置き、倒れないように鎖などで固定してください。
 - LPガス専用の接続管を使用し、ガス器具と容器をホースバンドで確実に接続してください。
- **ガス器具の使用**
 - 風や煮こぼれにより、火が消えないよう注意してください。
 - 使用中は、その場を離れないでください。

携行缶でガソリンを保管する際の注意点

- ガソリンは、マイナス40℃で気化し、小さな火源（静電気などの火花）でも引火して爆発的に燃焼する危険な物質で、気化した蒸気は、空気より3～4倍重く、広範囲に滞留します。
- ガソリンの携行は、専用の金属製携行缶に限られ、ポリ容器などは、消防法により使用が禁止されています。
- 消防法令により、40リットル以上保管する場合には、消防署への届出が必要です。
- 保管する場合は、火気がなく、温度変化の少ない常に安定した平らで安全な場所に保管することが必要です。
- 直射日光が当たる場所、高温になる場所での保管は、容器の変形や破裂、火災の原因となり、大変危険です。
- 消防法令により、ガソリンスタンドの従業員以外は、携行缶への給油は禁止されています。

携帯発電機を使用の際の注意点

- 発電機は、建物及びその他の設備から1m以上離して使用してください。（詳しくは、使用される発電機の取扱説明書で確認してください。）
- 発電機の周囲に危険物や燃えやすい物は、置かないでください。
- ガソリン給油時は、必ずエンジンを停止し、喫煙など火気厳禁を守り、給油中にこぼれたガソリンはきれいに拭き取ってください。



エンジンを停止する。



確実に拭き取る。